

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月13日 (2008.11.13)

【公表番号】特表2005-504846(P2005-504846A)

【公表日】平成17年2月17日 (2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2003-534427(P2003-534427)

【国際特許分類】

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/4375 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 471/06 (2006.01)

C 0 7 D 491/153 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 471/04 1 1 2 Z

A 6 1 K 31/4375

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

C 0 7 D 471/06

C 0 7 D 491/153

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年9月19日 (2008.9.19)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

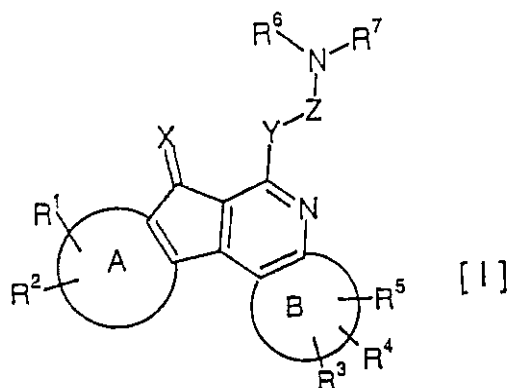
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

下記式 [ I ] :

## 【化 1】



〔式中、環Aは、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>により置換されていてもよい、窒素含有の5又は6員の複素芳香族環であり；

R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は独立して、水素、ハロゲン、(C1 - C5)アルキル、ヒドロキシ、メルカプト、(C1 - C5)アルコキシ、(C4 - C7)シクロアルキルオキシ、(C3 - C7)シクロアルキル(C1 - C5)アルキルオキシ、(C1 - C5)アルキルチオ、(C1 - C5)アルキルスルフィニル、(C1 - C5)アルキルスルホニル、アミノ、モノ - (C1 - C5) - アルキルアミノ、ジ - (C1 - C5) - アルキルアミノ又は - Y' - Z' - N(R<sup>6'</sup>)(R<sup>7'</sup>)であり；ここで

Y'は、O、S又はN(R<sup>9'</sup>)であり、ここでR<sup>9'</sup>は水素又は(C1 - C5)アルキルであり；又はY'がN(R<sup>9'</sup>)である場合、N(R<sup>9'</sup>)は、N(R<sup>6'</sup>)及びZ'と共に脂肪族環を形成し；

Z'は(C2 - C5)アルキレンであり；又はZ'はN(R<sup>6'</sup>)及び(NR<sup>9'</sup>)と共に脂肪族環を形成し；又はZ'はN(R<sup>6'</sup>)と共に脂肪族環を形成し；

R<sup>6'</sup>及びR<sup>7'</sup>は独立して、水素、(C1 - C5)アルキル、(C3 - C5)アルケニル、(C3 - C7)シクロアルキル、(C4 - C7)シクロアルキル、(C3 - C7)シクロアルキル(C1 - C5)アルキル又はアリール(C1 - C5)アルキル(ヒドロキシ、(C1 - C5)アルコキシ、アミノ、モノ - (C1 - C5) - アルキルアミノ及び/又はジ - (C1 - C5) - アルキルアミノから成る群から選択された1～3個の置換基により任意に置換される)であり；又は

R<sup>6'</sup>及びR<sup>7'</sup>は、酸素、窒素及び/又は硫黄から選択された1～3個のヘテロ原子を任意には含んでもよい脂肪族環を、隣接する窒素と共に形成し；又はR<sup>6'</sup>は、隣接する窒素及びZ'と共に脂肪族環を形成し；又はR<sup>6'</sup>は、隣接する窒素、N(R<sup>9'</sup>)及びZ'と共に脂肪族環を形成し；

環Bは、ベンゼン環、ナフタレン環、又は(C1 - C5)アルキレンジオキシ基により置換されたベンゼン環であり、これらは、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>及びR<sup>5</sup>により任意に置換されていてもよく；

R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>及びR<sup>5</sup>は独立して、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、メルカプト、(C1 - C5)アルキル、(C1 - C5)ハロゲン - アルキル、(C1 - C5)アルコキシ、(C1 - C5)ハロゲン - アルコキシ、(C3 - C5)アルケニルオキシ、(C4 - C7)シクロアルキルオキシ、(C3 - C7)シクロアルキル(C1 - C5)アルキルオキシ、アリール(C1 - C5)アルキルオキシ、(C1 - C5)アルキルチオ、(C1 - C5)アルキルスルフィニル、(C1 - C5)アルキルスルホニル、アミノ、モノ - (C1 - C5) - アルキルアミノ又はジ - (C1 - C5) - アルキルアミノであり；

XはO又はN - O - R<sup>8</sup>であり、ここでR<sup>8</sup>は水素、(C1 - C5)アルキル、(C3 - C5)アルケニル、(C4 - C7)シクロアルキル、(C3 - C7)シクロアルキル(C1 - C5)アルキル、アリール又はアリール(C1 - C5)アルキルであり；

Yは、O、S又はN(R<sup>9</sup>)であり、ここでR<sup>9</sup>は水素又は(C1 - C5)アルキルであり；又はYがN(R<sup>9</sup>)である場合、N(R<sup>9</sup>)はN(R<sup>6</sup>)及びZと共に脂肪族環を形成し；

Zは、(C1 - C5) アルキル基により任意に置換された (C2 - C5) アルキレンであり；又はZはN(R<sup>6</sup>) 及びN(R<sup>9</sup>) と共に脂肪族環を形成し；又はZはN(R<sup>6</sup>) と共に脂肪族環を形成し；

R<sup>6</sup> 及びR<sup>7</sup> は独立して、水素、(C1 - C5) アルキル、(C3 - C5) アルケニル、(C4 - C7) シクロアルキル、(C3 - C7) シクロアルキル (C1 - C5) アルキル又はアリール (C1 - C5) アルキル (ヒドロキシ、アルコキシ、アミノ、モノ (C1 - C5) - アルキルアミノ 及び/又はジ - (C1 - C5) - アルキルアミノにより任意に置換される) であり；あるいは

R<sup>6</sup> 及びR<sup>7</sup> は、酸素、窒素及び/又は硫黄から選択された 1 ~ 3 個のヘテロ原子を任意には含んでいてもよい脂肪族環を、隣接する窒素と共に形成し；又はR<sup>6</sup> は、隣接する窒素及びZと共に脂肪族環を形成し；又はR<sup>6</sup> は、隣接する窒素、N(R<sup>9</sup>) 及びZと共に脂肪族環を形成する]

で表される多環式化合物、及び医薬的に許容できるその塩。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 6】

環Bは、ベンゼン環、ナフチレン環、又は (C1 - C5) アルキレンジオキシ基により置換されたベンゼン環であり、これらは、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup> 及びR<sup>5</sup> により任意に置換されていてもよく；

R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup> 及びR<sup>5</sup> は独立して、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、メルカプト、(C1 - C5) アルキル、(C1 - C5) ハロゲン - アルキル、(C1 - C5) アルコキシ、(C1 - C5) ハロゲン - アルコキシ、(C3 - C5) アルケニルオキシ、(C4 - C7) シクロアルキルオキシ、(C3 - C7) シクロアルキル (C1 - C5) アルキルオキシ、アリール (C1 - C5) アルキルオキシ、(C1 - C5) アルキルチオ、(C1 - C5) アルキルスルフィニル、(C1 - C5) アルキルスルホニル、アミノ、モノ - (C1 - C5) - アルキルアミノ又はジ - (C1 - C5) - アルキルアミノであり；

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 4】

好ましい態様においては、本発明は、環Aが、R<sup>1</sup> 及びR<sup>2</sup> により置換され得る、窒素含有の 5 又は 6 員の複素芳香族環である式 [ I ] の化合物を含んで成る。好ましくは、環Aは、ピリジン、ピラジン、ピリダジン又はピリミジン環、及びより好ましくはピリジン環である。

好ましい態様においては、環Bは、ベンゼン環、ナフタレン環、又は (C1 - C5) アルキレンジオキシ基を有するベンゼン環であり、これらは任意にはR<sup>3</sup>、R<sup>4</sup> 及びR<sup>5</sup> により置換されている。

さらに好ましい態様においては、本発明は、環Bがベンゼン環、ナフタレン環又は (C1 - C5) アルキレンジオキシ基を有するベンゼン環である、式 [ I ] の化合物を含んで成る。最も好ましくは、環Bはベンゼン環である。